

スポンサー様

## 2013 Jet Ski Pro Asian Grand Prix



開催日

3月1-3日

開催場所

カンパン・ピット タイ

出場クラス

Pro Ski Open

Pro R/A Open

結果

Pro Ski Open

Moto#1 3位

Moto#2 2位 走行中最終ラップでエンジンブロー

Moto#3 リタイア (マシン直らず)

Moto#4 リタイア (マシン直らず)

総合 6位

Pro R/A Open

Moto#1 3位

Moto#2 4位

Moto#3 リタイア (スタートでポンプが石を咬んだ為、走行不能)

Moto#4 5位

総合 7位

第2回目の開催となった今回の Asian Cup ですが、レース会場は水面が荒れないとても流れの速い川でした。また、川幅が狭いためコースもとても狭く設計され、抜きどころが全くないコースでした。

今回の使用艇は、Ski クラスでは"HIDE"こと全日本チャンピオンの倉橋秀幸プロが去年の King's Cup で使用したウェーブサイドレーシングチーム所有の S4 でした。ウェーブサイドレーシングとはタイにあるチームで、タイで唯一の S4 に特化したレースチームです。

R/A クラスでは、日本が誇るトップチューナーの"藤江功一"さんが事前に現地入りして僕の為に調整して頂いた知人の GTI ターボを使用しました。しかし実際は GTI ターボで走れたのは Moto#1 だけで、その他の Moto は知人のストック艇の RXP-X260 をレンタルして走りました。(GTI ターボで走れなくなった原因は、僕の知人が予めオーストラリアから購入していたエンジンの組み方がおかしかった為に潰れてしまったからです。また、翌日にバックアップエンジンを載せ換えたところ、次はターボ破損及び、ECU がパンクしてしまい走行不可能となりました。藤江さんの苦勞とは全く関係ない物が次々に壊れてしまった為、全 Moto を GTI で走る事が出来ずショックでした。)

## Pro Ski Open

レース前日にウェーブサイドレーシングのオーナーから「うちの船に良かったら乗りますか？」というメッセージが送られて来ました。まずは用意して頂ける船がレースで闘える船かどうかを判断するためにテストへ向かいました。ゲレンデに到着後オーナーに会い、すぐにテストさせて頂く事になりました。乗ってみての感想は...「めちゃくちゃ速い!!!! 中速からの伸びが抜群に良い!!! ただし、加速だけは世界の TOP 艇達から比べると足りない為に、スタートでは前に出れない。」というものでした。その為その旨をオーナーに話すと、「エンジンの仕様は今のままで行くけど、足回りの部品を代えましょう。」と足回りを変えて乗ってみる事になりました。テストをしてはオーナーとメカニックに状況を的確に伝え、足回りのセッティングを変えて何度もテストを繰り返すこと3時間。とうとう完璧なセッティングに仕上が、「こんな速い S4 に乗ったことが無い! エンジンもセーフティ使用みたいだしこれなら必ず優勝出切る!!!」という確証を持ち、レース当日にエントリーしました。

Moto#1 のスタートは抽選の結果、アウトコースからでした。今回のコース設計は、スタートの1周目はインコースがとても近く(速く)、アウトコースがとても遠く(遅い)なっていました。2周目からはイン・アウト共にほぼ同じ距離でした。ですので、アウトスタートの僕には辛いハンデとなってしまいました。そして合図と同時にスタートをすると、アウトコースのぶっちぎりのホールショットを獲得したものの、合流でホームストレートに戻ってくる頃にはインコースからの2艇がすでに次のブイを曲がっていたため3位で通過

しました。それからはずっと気を緩めずに上位 2 艇を追いかけるものの、レース会場が川で水面が荒れないため抜きどころが全くありませんでした。レースはその順位のままゴールとなり、3 位でのフィニッシュとなりました。

Moto#2 では自分でスタートグリッドを選べるので、迷わず Moto#1 の上位 2 艇に続いてインコースを選びます。そして合図と共にスタート!! 抜群のタイミングで飛び出し、他を寄せ付けないうま 1 ブイを曲がってホールショットでした!!「よっしゃ!!!!」と思ったその時、赤旗が振られて再スタートとなりました。スタートグリッドに戻ってから赤旗の原因を聞くと、自分にペナルティが課されたことを知りました。Moto#1 でトップフィニッシュをしたタイで最も強大なチームが僕のホールショットに対してクレームをつけたと聞きました。正に「アウェーの洗礼」です……。しかし、海外戦を多く経験していると、このような事は日常茶飯事です。不服をオフィシャルに伝えても聞いてもらえない事は 100 も承知なので、絶対見返してやると心に誓い、最後尾からスタートしました。当然、1 周目は最後尾でホームストレートに戻ってきます。しかし、出遅れを取り返すためにいつも以上に集中して走りました。まずは 2 周目に 2 艇抜いて 5 位に上がりました。そして次の周にも 1 艇抜いて 4 位へ。次の周で 2 位争いをしている 2 艇に追いつき、後ろからブッシュを続けます。6 周目から 8 周目にかけて前艇のミスを見逃さずに抜き去り 2 位まで上がりました。そして 1 位を目前に捕らえました!!! 1 位と 1 ブイ差まで追いついた最終ラップにまさかの事件が起こりました。

コーナーの立ち上がりで急激にエンジン回転数が落ち、エンジンが止まってしまったのです。再度エンジンをかけ直そうと思っても、虚しくもセルが回るだけでエンジンが息を吹き返す事はありませんでした。そしてそのままレスキューされてリタイヤ（完走扱い）となってしまいました。レース後にメカニックがチェックしたところ、「これはもう直せないし、バックアップ艇もないから申し訳ないがレースは諦めてくれ。」と何度もメカニックに謝られ、翌日の Moto#3・Moto#4 を残してレース終了となってしまいました。（ちなみに原因はエンジントラブルで、ギア系のものが壊れてしまったからだそうです……。）

### Pro R/A Open

レース前日にウェーブサイドレーシングのゲレンデから帰った後、僕の知人行きつけのゲレンデで GTI ターボの完成を待ちました。もう完全に陽が暮れる頃ようやく GTI ターボが完成しテストを始めました。テストしてみたところエンジンの調子は好調で、後は冷却水の増量が必要という問題のみでその日のテストを終えました。

Moto#1 ではインコースの大外からのスタートでした。大外というメリットを有効に使い、上手く 1 ブイ争いの混戦をくぐり抜けて合流では 2 位でホームストレートを通過しました。

その後は順位が変わらずに走っていましたが、レース終盤に突如エンジンのパワーが落ちてきてしまいました。なんとか 3 位に抜かれないように走っていたものの、最終ラップのバックストレートで抜かれてしまい、3 位でフィニッシュラインを通過しました。そしてゴールと共にエンジンが止まってしまいました。・・・。

Moto#2 に間に合わせるために沢山のメカニックが手伝ってくれたものの、ピストンが真っ二つに割れた事が判明し、エンジンの載せ替えが必要となりました。しかし時間が無いために Moto#2 は急遽友人のストックの RXP-X を借りての出場となりました。

Moto#2 ではマシン変更の為にアウトの大外からのスタートが余儀なくされます。スタートしてから合流のホームストレートまでをほぼアクセル全開のまま曲がってきたためか、Open クラスの中でも 5 位でホームストレートを通過しました。荒れない水面のため順位は全く変わらなかったものの、最終ラップでどうにか 4 位を抜くことができ、4 位でのゴールとなりました。

Moto#3 前には、エンジン積み替えが完了した GTI ターボがピットに帰って来ました。早速テストを開始したのですが、どうしても本調子で走りません。メカニック達の徹夜作業も報われず、テスト水面でエンジンが止まりレスキューとなりました。トラブルの原因は、ターボ系、電気系トラブルによるものとの事でした。他チームからも多くのメカニックが集まり修復作業を行ってくれたのですが、スタート準備のアナウンスが流れた為、昨日の Moto#2 同様にチーム員のストックの RXP-X にて参戦になりました。スタートでは、抜群のタイミングでアクセルを握ったものの、”ゴゴゴゴッ!!!” という異音と共にまともに加速しませんでした。どうやらスタートでポンプに石が咬んでしまったようです。川の水量が減り、一部のスタートラインがとても浅くなり、川底の石を吸い込んだ様です。僕以外にも同様のトラブルが多発していました。とりあえずゆっくり走ることはできたのですが、僕に船を貸してくれている方が僕の次のヒートだった為、修理の為に止むを得ずピットに帰る事になりリタイヤとなってしまいました。

最後の Moto#4 も、GTI ターボの修理が出来なかった為にチーム員のストックの RXP-X で参戦です。Moto#2 同様にアウトコースの大外からスタートし、アウトコースの 3 位で、合流では 7 位でホームストレートを通過しました。その後は前艇のミスを上手く突き、ストック艇ながらラインを上手く考えて走ったため、2艇抜いて 5 位でのゴールとなりました。

#### レースを終えての感想

レースをやっている方は誰しもが言う言葉で「レースで優勝するには実力だけでなく、運も必要だ!!」というものがあります。

今回ばかりは本当に運がありませんでした。Ski では Moto#2 でビリから 1 位を目前のところまで行ったのにエンジンが壊れ……。R/A では GTI のエンジンが 2 基も壊れ、エンジンを載せ換えても次は ECU がパンクし、Moto#3 ではスタートで石を咬む……。など、一度にこんなに悪運が続くのか?! と自分自身が一番驚くほど今回は不運でした。正直、自分が "勝てる" と思えるような船に乗っていた為に尚更悔やまれます。

しかし、いつまでも悔しがっていても仕方がない為、気持ちをしっかりと切り替えて日々の練習に打ち込んでいきたいと思います。そして、4 月から始まる全日本選手権やマレーシアのシリーズ戦に向けて備えていこうと思います。

今回の Asian Cup において沢山の応援をして頂いたスポンサーの皆様、本当にありがとうございました!! 次回のレースではきちりと結果を残したいと思います。



Team WPS Japan #1 小原 聡将